

研究課題名	覚醒剤並びに向精神薬中毒死症例における遺伝子発現解析
研究の意義・目的	本研究は、覚醒剤並びに向精神薬中毒で亡くなられた方の脳、肝臓、腎臓において特異的に発現が増減している遺伝子を調べます。それにより、薬物中毒死に至るメカニズムを明らかにします。また、それらの遺伝子発現の変化が死因診断に応用できないかを検討したいと考えています。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2030年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2005年1月1日~2021年12月31日に大阪公立大学大学院医学研究科法医学教室において解剖された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	法医解剖の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 【試料】: 脳、肝臓、腎臓から抽出した total RNA、タンパク 【情報】: 解剖所見、病理診断、薬物検査結果、生化学検査結果
試料・情報の他機関への提供	この研究は 福岡大学医学部法医学教室へ頂いた試料・情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	共同研究機関: 福岡大学医学部法医学教室 研究責任者: 松末 綾
試料・情報を管理する責任者	福岡大学医学部法医学教室 松末 綾
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 (担当者氏名) 石川 隆紀 電話番号: (06) 6645-3767 メールアドレス: takaki@omu.ac.jp